

重点項目Ⅳ

誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進

新たな時代に対応した質の高い教育を実現するため、児童生徒、教職員が心身ともに健康で、安心して自分の夢を実現できる教育環境づくりを推進します。また、人生100年時代を見据え、生涯の様々なステージに必要な能力を着実に身に付け、発揮することができるようリカレント教育^{*}の充実を図ります。

①生涯を通じた「豊かな学び」の創出

○つながる！支える！できる！家庭教育支援の充実

すべての教育の基盤となる家庭教育に安心して取り組めるよう、関連する情報の提供や、保護者相互の交流・研修の実施、相談対応の充実等により、「知的・人的ネットワーク」の構築を図ることで家庭教育力の向上をめざします。



家庭教育力向上のための研修
「とくしま親なびワークショップ」



○生涯にわたって学び続ける環境づくり



まなびを支援し、地域交流を促す
「まなびの丘フェスティバル」



まなびーあ徳島やシルバー大学校、文化の森総合公園や公民館等の社会教育施設を拠点として、生涯学習やライフステージに応じた、「リカレント教育」を推進します。

すべての世代に学習機会の創出を図り、他者と連携・協働しながら、地域の課題解決や地域振興を主体的に担うことができる、人財を育成するなど、子どもから高齢者まで県民一人ひとりが生涯にわたって学び続けられる環境づくりを推進します。

全国初の「県立夜間中学」を設置することにより、学び直しを必要とする人や、外国籍の人、就学の機会の提供を希望する人に対し義務教育の段階における普通教育に相当する教育機会の確保を図ります。

②とくしまの未来を守る「防災教育」の推進

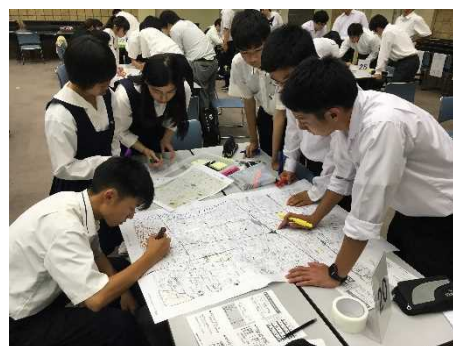
○「絆」を育む防災教育の推進

南海トラフ地震をはじめとする震災、風水害、火災等の災害から、各自の状況に応じた「自助」、「共助」の防災活動ができることをめざし、児童生徒の発達段階に応じて、災害に適切に対応する能力や、主体的に判断し行動する能力を高めるため、家庭や地域、大学等の関係機関と連携した防災教育を推進します。



○学校から地域へ広げる防災力の向上

中・高校生の防災士資格の取得を支援するとともに、これまで、活動の充実を図ってきた学校の「防災クラブ」を中心に、地域と連携した実践的な防災ボランティア活動に取り組むことで、将来の地域防災を担う人財の育成を強力に推進します。



中・高校生の防災研修会

防災士の資格を持つ教員を継続して養成し、教員の防災教育に関する指導力向上を図るとともに、避難所となる学校が適切に初動対応できるよう、学校防災体制の強化を図り、地域と協働した防災力の向上に取り組めます。



③すべての子どもが学び、成長する教育環境の充実

○子どもと共に教職員が輝く、質の高い学びの実現

すべての教職員が主体的に学び、自己を高め、学校目標を達成できるよう、教員育成指標を踏まえたキャリアステージに応じた体系的な研修の実施や*「メンター制」による若手教職員の育成など、学び続ける教職員を支援する環境を整備します。



テレビ会議システムを
活用したサテライト研修

すべての教職員が、安心して教育活動に専念し、その能力を十分に発揮できる、「持続可能な学校づくり」を推進します。

県内小・中学校への「^{*}統合型校務支援システム」の導入による負担軽減など、学校における働き方改革を推進し、教職員の心身の健康保持・増進、ワーク・ライフ・バランスの浸透を図ります。



○学校・家庭・地域が一体で取り組む教育の推進

めざす学校像や子ども像等に関する、学校運営のビジョンを学校と家庭・地域が共有し、互いにパートナーとして、連携・協働のもとに教育活動を充実させていくことができる、「地域とともにある学校づくり」の実現のために、「学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)」の導入を推進します。

放課後等の多様な学びや体験活動など、地域人材の参画による学校教育活動支援や地域と学校が連携・協働した多様な取組により、地域総ぐるみの教育を実現し、地域の教育力向上や地域の活性化を図ります。



放課後子供教室での学び



○すべての子どもに均等な教育機会の提供

子どもへの教育機会の提供が、生まれ育った環境によって左右されることなく、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、学校教育費の負担を軽減し、次代を担うすべての子どもが、将来に夢と希望を持って成長していける社会の実現のため、「子どもの貧困対策」をより一層、推進します。

